

# 2019年度第3四半期決算の概要 及び 2019年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2020年2月5日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 目次

1. 2019年度第3四半期決算の概要	
1) 2019年度第3四半期 事業概況及びトピックス	…1
2) 決算の概要	…2、3
3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…4
4) 営業外損益及び特別損益の内訳	…5、6
5) 貸借対照表	…7
6) キャッシュ・フロー計算書	…8
2. 2019年度業績予想の概要	
1) 2019年度第4四半期のトピックス	…9
2) 業績予想の概要	…10
3) セグメント別 売上高・営業利益の予想（対前年決算）	…11
4) セグメント別 営業利益の予想（対前回予想・年度）	…12
5) 営業外損益及び特別損益の内訳	…13、14
6) キャッシュ・フロー計算書	…15
3. 補助資料	…16~24

# 1. 2019年度第3四半期決算の概要

---

## <事業概況>

- ◆ **モビリティ**：グローバルな自動車生産の減速がある中、エラストマー及び機能性コンパウンドは販売が減少、ポリプロピレン・コンパウンドの販売は概ね前年並みで推移。機能性ポリマーは、全般としてICT関連需要が停滞する中で、確実な需要に的確に対応した。
- ◆ **ヘルスケア**：ビジョンケア材料、歯科材料の販売は堅調に推移。不織布の販売は概ね前年並みで推移した。
- ◆ **フード&パッケージング**：コーティング・機能材の販売は安定的に推移。機能性フィルム・シートは、包装用フィルム分野の販売が減少したが、産業用フィルム分野の販売は堅調に推移。農薬の販売は時期ずれ等により減少した。
- ◆ **基盤素材**：ナフサクラッカーの稼働は、市原工場の設備不具合や台風による影響で低下したものの、概ね高水準で推移。ポリエチレン及びポリプロピレンは、主に包材用途で需要の鈍化の影響を受けた。オレフィン及びフェノールの海外市況は前年を下回る水準で推移した。

## <第3四半期のトピックス>

- ・北米におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン 生産設備完工  
(19年10月、3,500トン/年、20年度第1四半期 営業運転開始予定)

## 2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-12月決算	19年度 4-12月決算	増減	増減率
売上高	11,148	9,991	△ 1,157	△10%
営業利益	746	530	△ 216	△29%
営業外損益	116	△ 25	△ 141	—
経常利益	862	505	△ 357	△41%
特別損益	△ 52	△ 47	5	—
税金等調整前 四半期純利益	810	458	△ 352	△43%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	579	271	△ 308	△53%
為替レート(円/US\$)	111	109	△ 2	
国産ナフサ(円/KL)	52,100	42,300	△ 9,800	

## 2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年3月末	19年12月末	増減	増減率
有利子負債	4,850	5,184	334	7%
Net 有利子負債	3,740	3,998	258	7%
自己資本	5,519	5,509	△ 10	△0%
Net D / E レシオ (倍)	0.68	0.73	0.05	—
自己資本比率 (%)	36.8	37.1	0.3	—

(単位：社)

摘 要	19年3月末	19年12月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	116	117	1
持分法適用会社	39	39	0
連結対象会社計	155	156	1

### 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	18年度 4-12月決算	19年度 4-12月決算	増減	18年度 4-12月決算	19年度 4-12月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	2,945	2,777	△ 168	315	294	△ 21	△ 7	10	△ 24
ヘルスケア	1,097	1,067	△ 30	97	98	1	11	0	△ 10
フード & パッケージング	1,465	1,394	△ 71	118	118	0	△ 16	21	△ 5
基盤素材	5,457	4,622	△ 835	275	86	△ 189	△ 31	△ 163	5
その他	184	131	△ 53	△ 59	△ 66	△ 7	-	-	△ 7
合計	11,148	9,991	△ 1,157	746	530	△ 216	△ 43	△ 132	△ 41
成長3領域*	5,507	5,238	△ 269	530	510	△ 20			

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

## 4) 営業外損益及び特別損益の内訳

### 営業外損益

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-12月決算	19年度 4-12月決算	増減
持 分 法 投 資 損 益	110	34	△ 76
金 融 収 支	△ 5	△ 4	1
為 替 差 損 益	△ 0	△ 8	△ 8
そ の 他	11	△ 47	△ 58
営業外損益 合計	116	△ 25	△ 141



## 4) 営業外損益及び特別損益の内訳

### 特別損益

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-12月決算	19年度 4-12月決算	増減
資 産 売 却 益	35	6	△ 29
事 業 譲 渡 益	7	-	△ 7
退 職 給 付 信 託 設 定 益	-	71	71
特別利益計 (A)	42	77	35
固 定 資 産 処 分 ・ 売 却 損	20	21	1
減 損 損 失	9	12	3
投 資 有 価 証 券 評 価 損	2	0	△ 2
出 資 金 評 価 損	-	76	76
関 連 事 業 損 失	-	9	9
事 業 譲 渡 損	-	6	6
火 災 に よ る 損 失	63	-	△ 63
特別損失計 (B)	94	124	30
特別損益 合計 (A-B)	△ 52	△ 47	5

## 5) 貸借対照表

(単位：億円)

摘 要	19年3月末	19年12月末	増減	摘 要	19年3月末	19年12月末	増減
流動資産	( 7,867 )	( 7,524 )	( △ 343 )	負債	( 8,694 )	( 8,546 )	( △ 148 )
現 預 金	1,111	1,185	74	買 掛 債 務	1,639	1,387	△ 252
売 掛 債 権	3,106	2,716	△ 390	有 利 子 負 債	4,850	5,184	334
た な 卸 資 産	3,019	2,933	△ 86	そ の 他	2,205	1,975	△ 230
そ の 他	631	690	59				
固定資産	( 7,144 )	( 7,319 )	( 175 )	純 資 産	( 6,317 )	( 6,297 )	( △ 20 )
有形固定資産	4,431	4,773	342	株 主 資 本	5,329	5,404	75
無形固定資産	294	291	△ 3	その他の包括利益 累 計 額	190	105	△ 85
投 資 等	2,419	2,255	△ 164	非支配株主持分	798	788	△ 10
合 計	15,011	14,843	△ 168	合 計	15,011	14,843	△ 168

## 6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-12月決算	19年度 4-12月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	674	862	188
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 322	△ 640	△ 318
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	352	222	△ 130
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 203	△ 145	58
IV. その他	1	△ 5	△ 6
現預金等増減	150	72	△ 78

## 2. 2019年度業績予想の概要

---

# 1) 2019年度第4四半期のトピックス

## <トピックス(予定)>

- ・台湾における半導体製造工程用テープ「イクロステープ®」 営業運転開始  
(20年1月、380万m<sup>2</sup>/年)
- ・北米におけるミラストマー 生産設備完工 (20年3月、6,000トン/年)

## 2) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘要	18年度決算 (a)		19年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		19年度前回予想 (19.11.6発表)
	4-12月	年度	4-12月	年度	年度	%	
売上高	11,148	14,829	9,991	13,550	△ 1,279	△9%	13,650
営業利益	746	934	530	760	△ 174	△19%	840
営業外損益	116	96	△ 25	△ 50	△ 146	-	△ 50
経常利益	862	1,030	505	710	△ 320	△31%	790
特別損益	△ 52	23	△ 47	110	87	-	△ 130
税金等調整前 当期純利益	810	1,053	458	820	△ 233	△22%	660
親会社株主に帰属する 当期純利益	579	761	271	500	△ 261	△34%	420

為替レート(円/US\$)	111	111	109	109	△ 2	109
国産ナフサ(円/KL)	52,100	49,400	42,300	43,200	△ 6,200	41,900

配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	期末
		50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株	+0円/株
	通期 100 円/株		通期 100 円/株		通期 +0円/株		通期 100 円/株

### 3) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	18年度決算		19年度予想		増減 (b) - (a)	18年度決算		19年度予想		増減 (d) - (c)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		4-12月	年度 (c)	4-12月	年度 (d)	
モビリティ	2,945	3,954	2,777	3,790	△ 164	315	427	294	410	△ 17
ヘルスケア	1,097	1,466	1,067	1,440	△ 26	97	136	98	145	9
フード & パッケージング	1,465	1,994	1,394	1,950	△ 44	118	178	118	195	17
基盤素材	5,457	7,165	4,622	6,190	△ 975	275	278	86	105	△ 173
その他	184	250	131	180	△ 70	△ 59	△ 85	△ 66	△ 95	△ 10
合計	11,148	14,829	9,991	13,550	△ 1,279	746	934	530	760	△ 174
成長3領域*	5,507	7,414	5,238	7,180	△ 234	530	741	510	750	9

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

## 4) セグメント別 営業利益の予想 (対前回予想・年度)

(単位：億円)

セグメント	19年度 営業利益			主要増減要因
	前回予想 (19.11.6発表)	今回予想	増減	
モビリティ	410	410	0	販売数量(-)、固定費(+) 等
ヘルスケア	145	145	0	
フード & パッケージング	195	195	0	販売数量(-)、固定費(+) 等
基盤素材	175	105	△ 70	販売数量(-)、交易条件(-) 等
その他	△ 85	△ 95	△ 10	
合計	840	760	△ 80	



## 5) 営業外損益及び特別損益の内訳

### 営業外損益

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)	
持 分 法 投 資 損 益	110	108	34	30	△ 78
金 融 収 支	△ 5	△ 7	△ 4	△ 15	△ 8
為 替 差 損 益	0	△ 4	△ 8	△ 8	△ 4
そ の 他	11	△ 1	△ 47	△ 57	△ 56
営業外損益 合計	116	96	△ 25	△ 50	△ 146

## 5) 営業外損益及び特別損益の内訳

### 特別損益

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)	
資産売却益	35	37	6	6	△ 31
事業譲渡益	7	7	-	-	△ 7
退職給付信託設定益	-	-	71	251	251
受取保険金	-	114	-	-	△ 114
特別利益計 (A)	42	158	77	257	99
固定資産処分・売却損	20	44	21	44	0
減損損失	9	14	12	12	△ 2
投資有価証券評価損	2	2	0	0	△ 2
出資金評価損	-	-	76	76	76
関連事業損失	-	-	9	9	9
事業譲渡損	-	-	6	6	6
火災による損失	63	75	-	-	△ 75
特別損失計 (B)	94	135	124	147	12
特別損益 合計 (A-B)	△ 52	23	△ 47	110	87

## 6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)	19年度 前回予想 (19.11.6発表)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	674	1,095	862	1,150	55	1,300
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 322	△ 643	△ 640	△ 1,000	△ 357	△ 1,100
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	352	452	222	150	△ 302	200
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 203	△ 141	△ 145	△ 300	△ 159	△ 300
IV. その他	1	△ 1	△ 5	0	1	—
現預金等増減	150	310	72	△ 150	△ 460	△ 100

## 3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 財務データ
- 5) 地域別売上高比率

# 1) 製品価格の状況

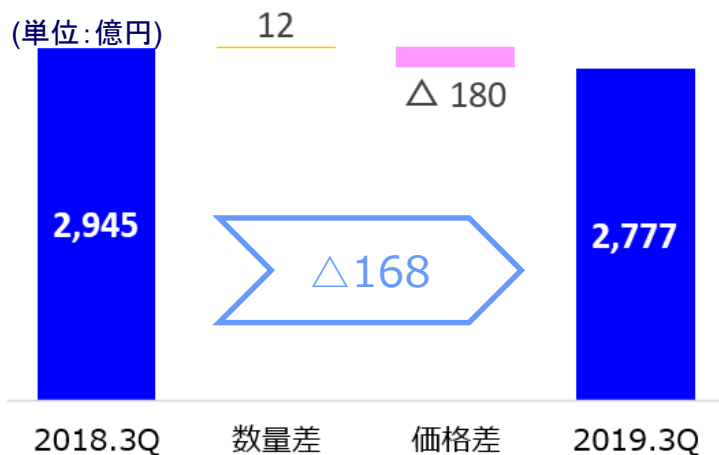
(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

年		2017年				2018年				2019年			
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
国産標準 力価価格	(円/KL)	41,900	39,100	36,100	44,600	47,900	48,800	53,500	54,200	41,200	45,400	40,200	41,300
P E国内	(円/KG)	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度
P P国内	(円/KG)	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度
P H国内 (フォーミュラ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	+10円
B Z (* A C P)	(\$/T)	\$950	\$790	\$770	\$830	\$920	\$850	\$860	\$770	\$580	\$620	\$660	\$680
B P A国内	(円/KG)	+20円 (3月~)	→	→	→	→	→	→	→	→	△15円 (4月~)	→	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,360	\$1,200	\$1,220	\$1,420	\$1,670	\$1,800	\$1,810	\$1,550	\$1,450	\$1,410	\$1,190	\$1,210
P T A 中国市況	(\$/T)	\$670	\$630	\$640	\$690	\$760	\$810	\$960	\$910	\$840	\$790	\$700	\$620
P X (* A C P)	(\$/T)	\$890	\$810	\$800	\$890	\$950	\$980	\$1,140	\$1,140	\$1,060	\$910	\$810	\$800
T D I 中国市況	(\$/T)	\$3,480	\$3,500	\$3,680	\$4,380	\$4,470	\$4,150	\$3,400	\$2,480	\$1,730	\$1,790	\$1,610	\$1,500

\*ACP アジア圏契約価格

## 2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

### 売上高増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)



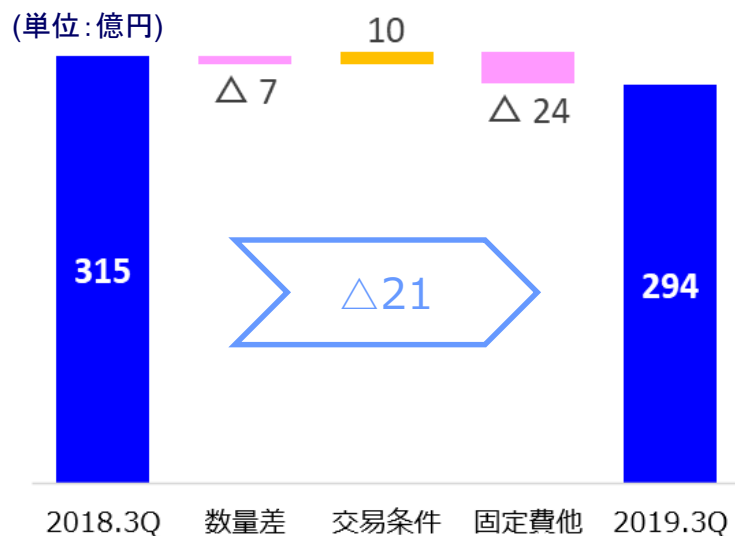
#### ◆数量差 +12億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンドはグローバル自動車生産の減速の影響を受けた。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

#### ◆価格差 △180億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

### 営業利益増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)



#### ◆数量差 △7億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンドはグローバル自動車生産の減速の影響を受けた。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

#### ◆交易条件 +10億円

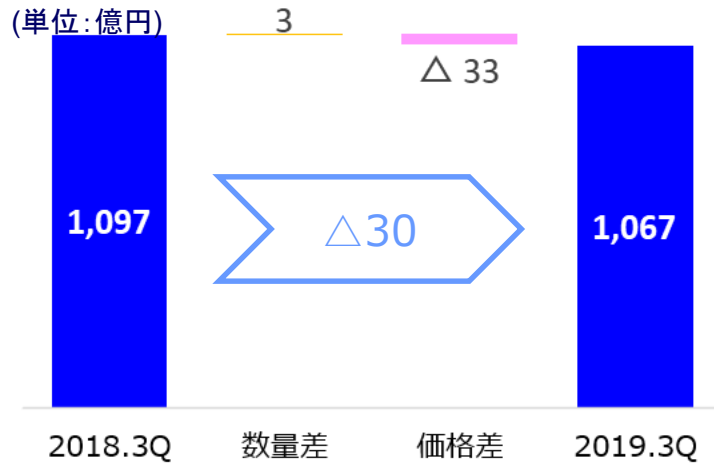
- ・原料価格下落による交易条件改善等。

#### ◆固定費他 △24億円

- ・研究開発費等の資源投入。
- ・在庫固定費影響等。

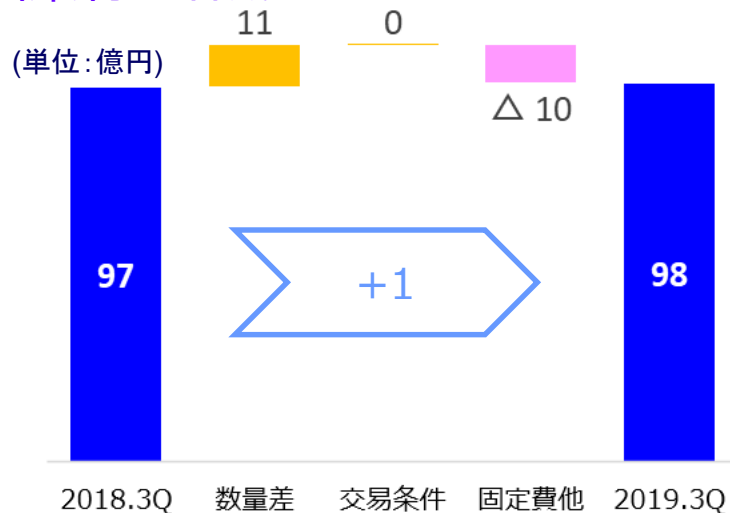
## 2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

### 売上高増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)



- ◆数量差 +3億円
  - ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。
- ◆価格差  $\Delta$ 33億円
  - ・原料価格下落による販売価格の改定等。

### 営業利益増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)

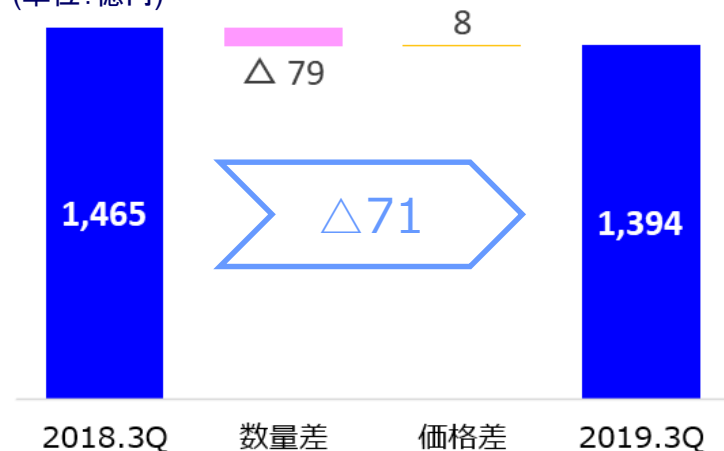


- ◆数量差 +11億円
  - ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。
- ◆交易条件  $\pm$ 0億円
- ◆固定費他  $\Delta$ 10億円
  - ・不織布の減価償却費の増加等。

## 2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

### 売上高増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



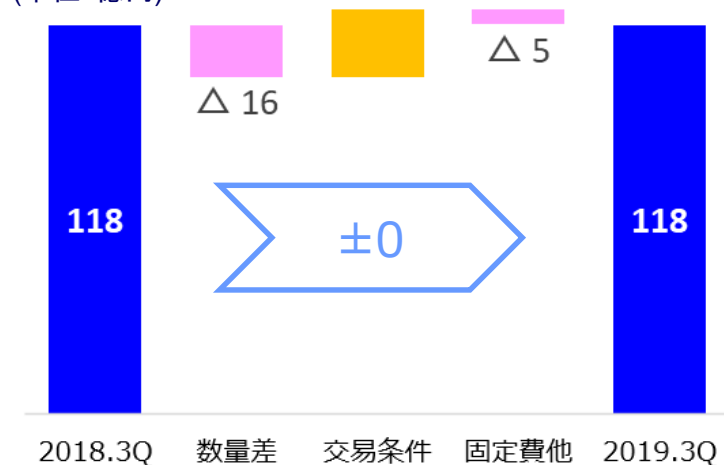
#### ◆数量差 △79億円

- ・産業用フィルムの販売堅調。
- ・包装フィルムの販売減少。
- ・販売時期ずれによる農薬の減販等。

#### ◆価格差 +8億円

### 営業利益増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



#### ◆数量差 △16億円

- ・産業用フィルムの販売堅調。
- ・包装フィルムの販売減少。
- ・販売時期ずれによる農薬の減販等。

#### ◆交易条件 +21億円

- ・原料価格下落による交易条件改善等。

#### ◆固定費他 △5億円

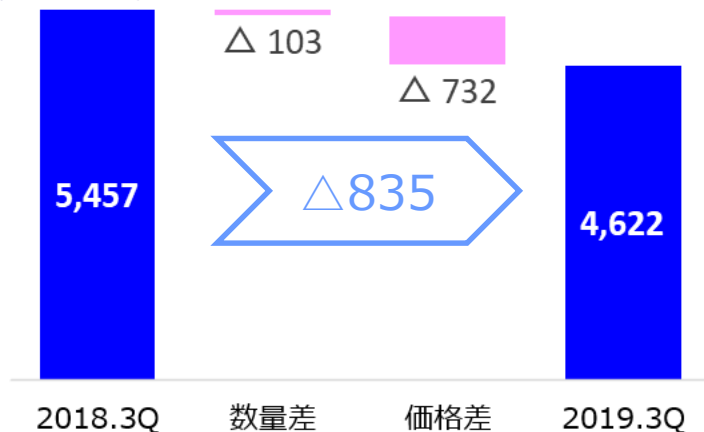
- ・研究開発費等の資源投入。



## 2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

### 売上高増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



#### ◆数量差 △103億円

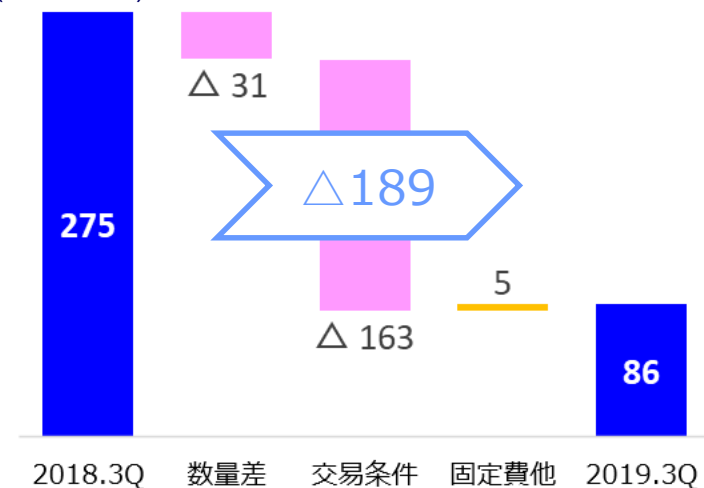
- ・オレフィン、ポリオレフィンの販売減少。
- ・フェノールの稼働調整等。

#### ◆価格差 △732億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定。
- ・海外市況下落等。

### 営業利益増減 (2019年度第3四半期決算 対 2018年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



#### ◆数量差 △31億円

- ・オレフィン、ポリオレフィンの販売減少。
- ・フェノールの稼働調整等。

#### ◆交易条件 △163億円

- ・海外市況下落。
- ・在庫評価差等。

#### ◆固定費他 +5億円

### 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (四半期別)

#### 売上高推移

(単位：億円)

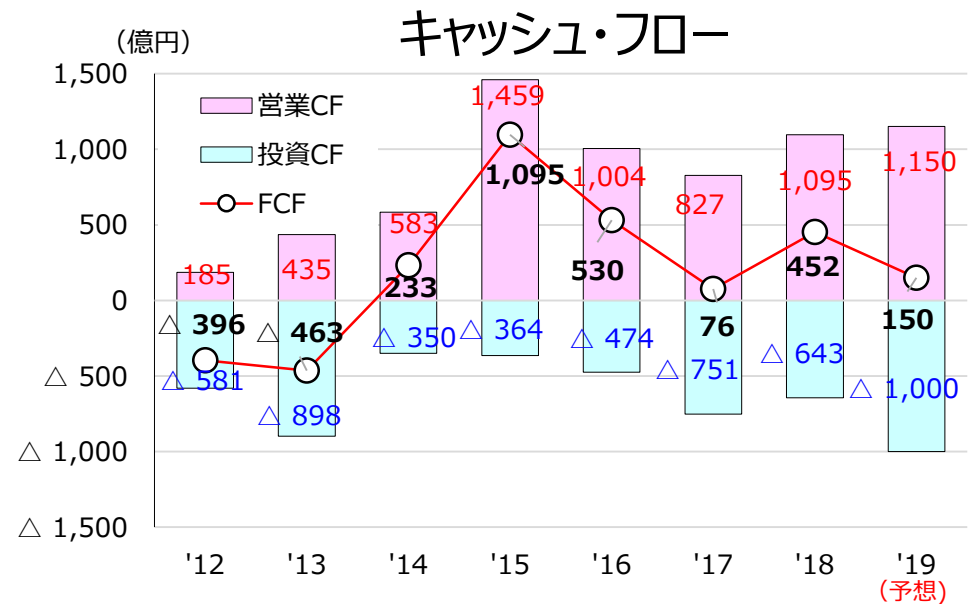
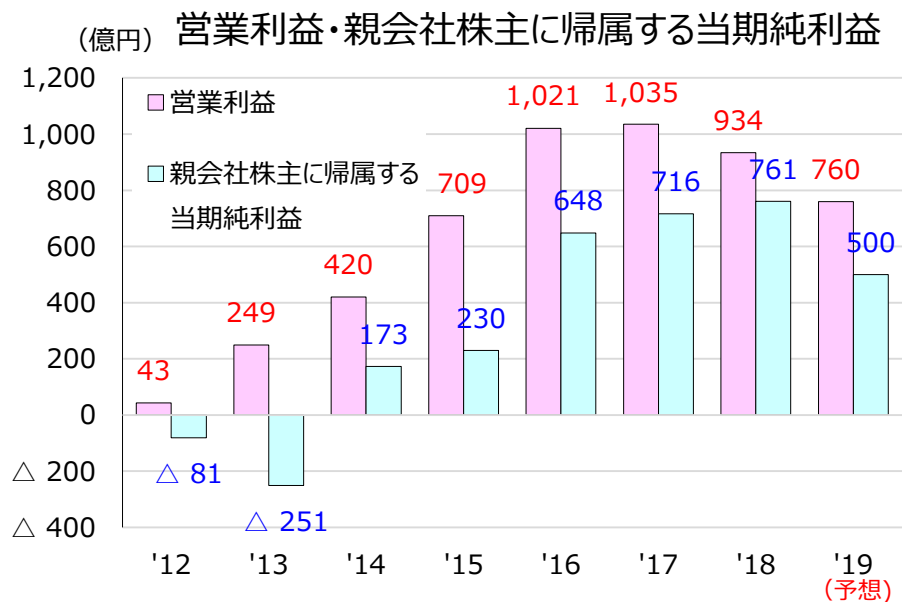
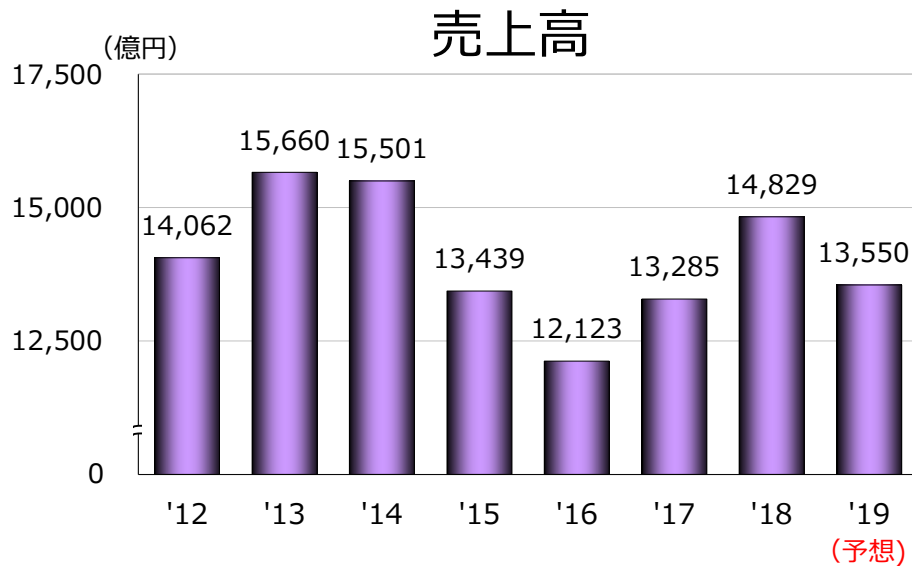
セグメント	18年度				19年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
モビリティ	973	979	993	1,009	941	934	902
ヘルスケア	362	350	385	369	352	345	370
フード&パッケージング	475	491	499	529	456	474	464
基盤素材	1,701	1,762	1,994	1,708	1,635	1,523	1,464
その他	52	64	68	66	44	45	42
合計	3,563	3,646	3,939	3,681	3,428	3,321	3,242

#### 営業利益推移

(単位：億円)

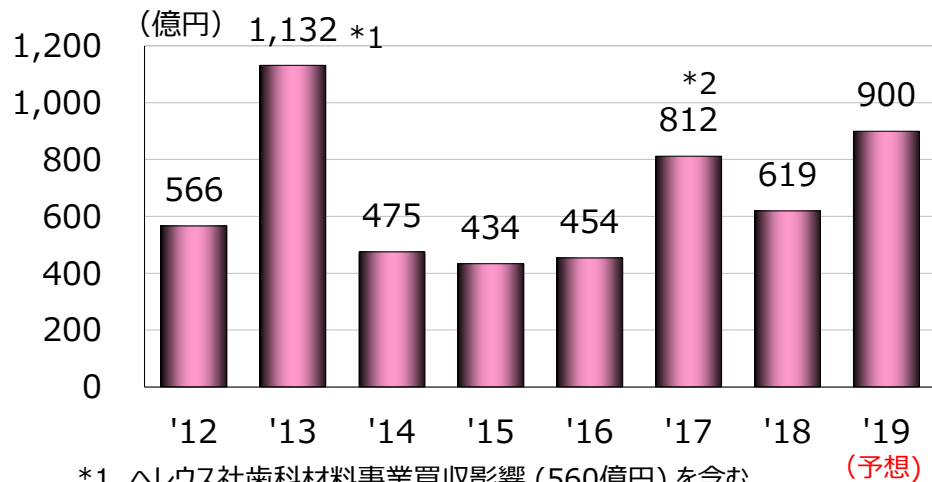
セグメント	18年度				19年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
モビリティ	108	93	114	112	101	97	96
ヘルスケア	36	27	34	39	38	22	38
フード&パッケージング	33	55	30	60	33	46	39
基盤素材	110	74	91	3	61	△ 12	37
その他	△ 24	△ 15	△ 20	△ 26	△ 26	△ 15	△ 25
合計	263	234	249	188	207	138	185

# 4-1) 財務データ



# 4-2) 財務データ

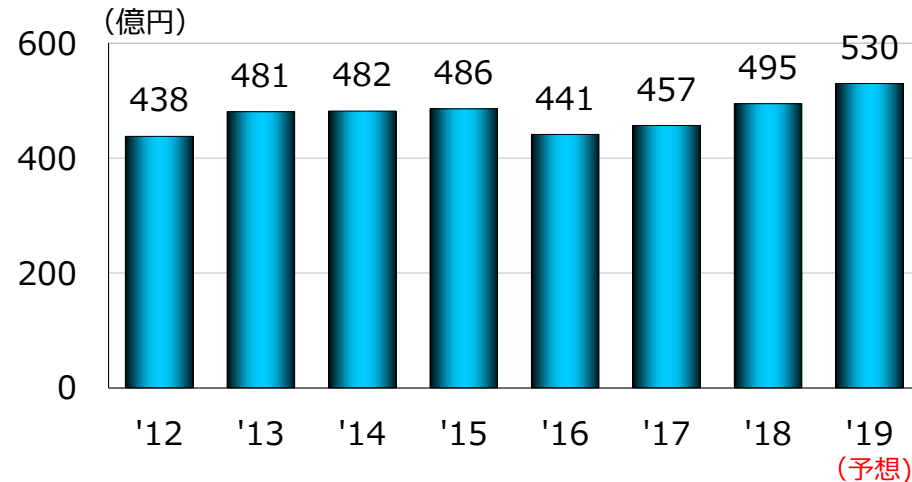
## 設備投資額



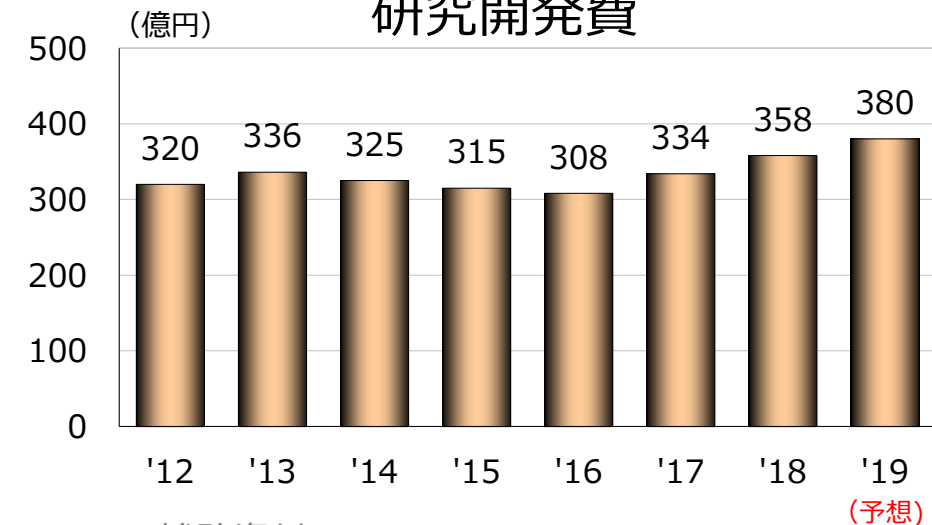
\*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む

\*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

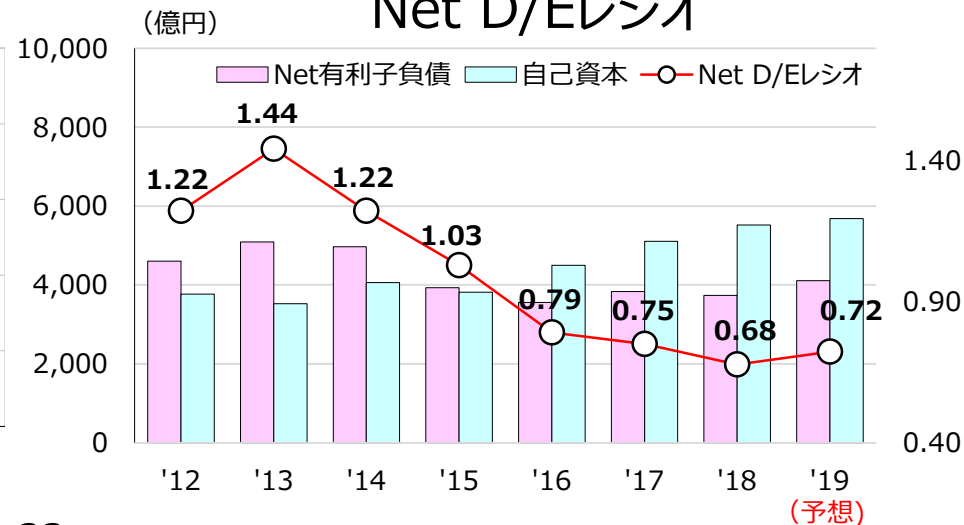
## 減価償却費



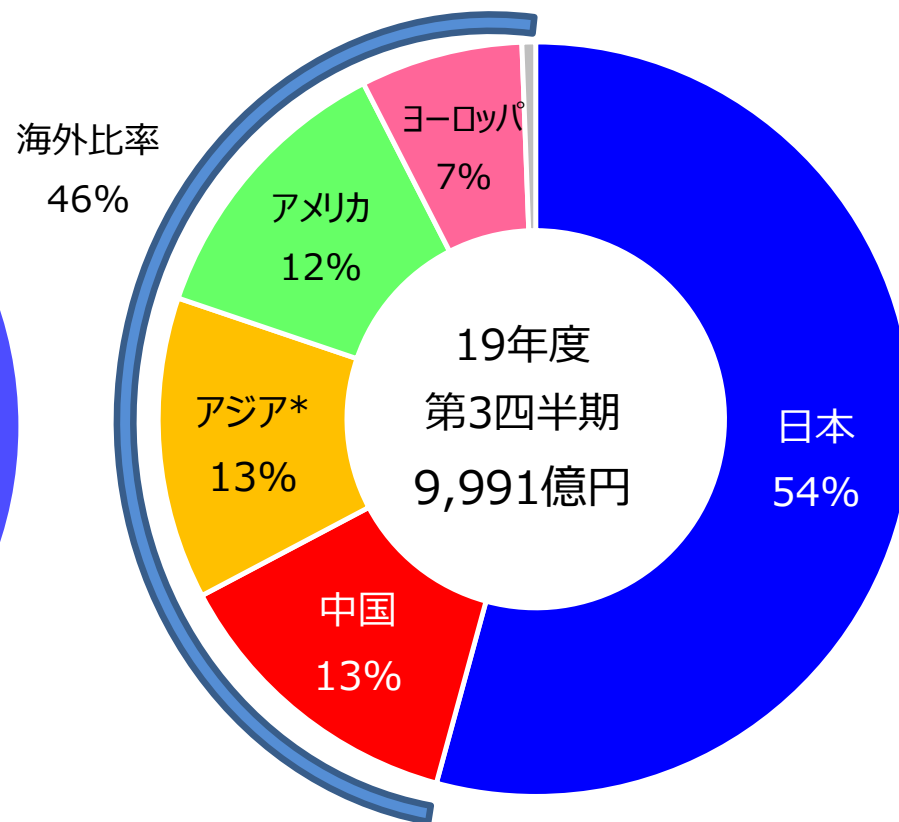
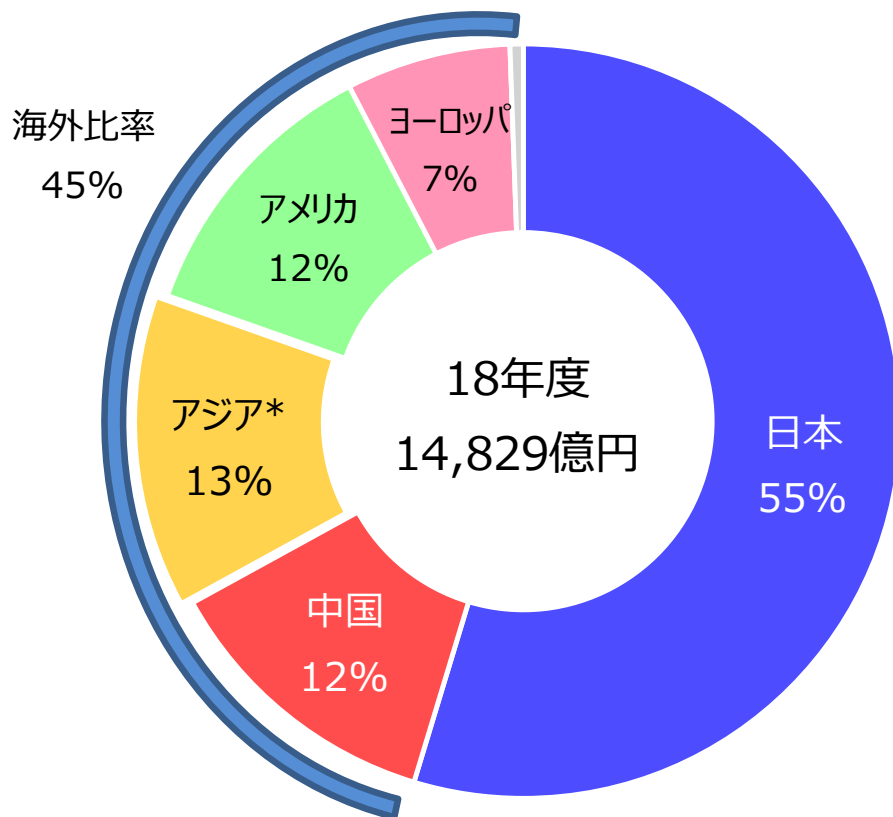
## 研究開発費



## Net D/Eレシオ



# 5) 地域別売上高比率



\* アジア：日本及び中国を除く



**Mitsui Chemicals**

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、  
社会課題を解決する